

<結婚と仕事>

21. 仕事と生活の調和を図るために必要なこと (Q38)

<全ての方に>

Q38 仕事と生活の調和を図るために必要だと思うことは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 育児休業・介護休業などの制度が利用できること
- 2 職場が育児や介護などとの両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること
- 3 残業や休日出勤が少ないこと
- 4 有給休暇が取りやすいこと
- 5 フレックスタイム、在宅勤務など多様な働き方ができること
- 6 夫が家事・育児に参加・協力すること
- 7 親との近居・同居を促進するための新築・改築・転居を公的に支援すること
- 8 その他(具体的に)
- 9 わからない

- ・全体では、「職場が育児や介護などとの両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が79.7%と最も高く、次いで「育児休業・介護休業などの制度が利用できること」(72.8%)、「有給休暇が取りやすいこと」(70.9%)と続く。
- ・女性では、「夫が家事・育児に参加・協力すること」(76.0%)が、比較的高い。「未婚」の場合に73.2%であるのに対し、「既婚」では78.0%と8割弱にのぼる。

図表 21-1 仕事と生活の調和を図るために必要なこと [Q38] (MA) (全員)
【性・結婚状況(性・年代)別】

| N | | 育児休業・ 介護休業な どの制度が 利用できる こと | 職場が育児や 介護などの両 立に配慮や理 解があり、制度 を利用しやすい 環境であること | 残業や休日 出勤が少な いこと | 有給休暇が 取りやすいこ と | フレックスタイ ム、在宅勤 務など多様 な働き方が できること | 夫が家事・ 育児に参 加・協力す ること | 親との近居・ 同居を促進 するための新 築・改築・転 居を公的に 支援すること | その他 | わからない | 無回答 | |
|------|---------|--|---|-----------------------|----------------------|---|-------------------------------|--|------|-------|-----|-----|
| 全 体 | (2,643) | 72.8 | 79.7 | 58.0 | 70.9 | 39.9 | 65.6 | 23.7 | 3.7 | 2.9 | 0.8 | |
| 男性全体 | (1,125) | 64.0 | 70.9 | 54.5 | 66.3 | 33.9 | 51.5 | 25.9 | 3.6 | 4.9 | 0.9 | |
| 女性全体 | (1,518) | 79.4 | 86.2 | 60.7 | 74.3 | 44.4 | 76.0 | 22.1 | 3.7 | 1.4 | 0.7 | |
| 未婚 | 未婚全体 | (1,215) | 73.1 | 75.8 | 54.2 | 66.2 | 37.0 | 63.1 | 19.8 | 3.1 | 4.8 | 0.9 |
| | 男 性 | (585) | 65.3 | 66.2 | 51.8 | 60.5 | 31.6 | 52.3 | 21.5 | 3.1 | 7.4 | 1.0 |
| | 20代 | (354) | 68.4 | 67.5 | 50.8 | 62.1 | 30.5 | 54.5 | 18.6 | 2.0 | 6.5 | 1.1 |
| | 30代 | (231) | 60.6 | 64.1 | 53.2 | 58.0 | 33.3 | 48.9 | 26.0 | 4.8 | 8.7 | 0.9 |
| | 女 性 | (630) | 80.3 | 84.8 | 56.5 | 71.4 | 42.1 | 73.2 | 18.3 | 3.2 | 2.4 | 0.8 |
| | 20代 | (450) | 80.4 | 84.7 | 56.2 | 70.7 | 41.1 | 72.9 | 14.9 | 2.4 | 2.2 | 0.9 |
| 30代 | (180) | 80.0 | 85.0 | 57.2 | 73.3 | 44.4 | 73.9 | 26.7 | 5.0 | 2.8 | 0.6 | |
| 既婚 | 既婚全体 | (1,428) | 72.6 | 83.1 | 61.3 | 74.9 | 42.4 | 67.6 | 27.0 | 4.1 | 1.3 | 0.6 |
| | 男 性 | (540) | 62.6 | 76.1 | 57.4 | 72.6 | 36.3 | 50.6 | 30.6 | 4.3 | 2.2 | 0.7 |
| | 20代 | (83) | 60.2 | 79.5 | 53.0 | 74.7 | 25.3 | 47.0 | 26.5 | 2.4 | 4.8 | 0.0 |
| | 30代 | (457) | 63.0 | 75.5 | 58.2 | 72.2 | 38.3 | 51.2 | 31.3 | 4.6 | 1.8 | 0.9 |
| | 女 性 | (888) | 78.7 | 87.3 | 63.6 | 76.4 | 46.1 | 78.0 | 24.9 | 4.1 | 0.8 | 0.6 |
| | 20代 | (174) | 79.9 | 85.1 | 59.2 | 75.3 | 40.2 | 77.0 | 25.3 | 2.9 | 0.6 | 0.0 |
| | 30代 | (714) | 78.4 | 87.8 | 64.7 | 76.6 | 47.5 | 78.3 | 24.8 | 4.3 | 0.8 | 0.7 |
| | 子有り | (1,118) | 72.0 | 82.9 | 61.6 | 74.8 | 42.5 | 67.9 | 27.0 | 4.0 | 1.5 | 0.7 |
| 子無し | (308) | 74.7 | 83.4 | 60.4 | 75.3 | 42.2 | 66.6 | 26.9 | 4.5 | 0.6 | 0.3 | |

1位 2位 3位

・雇用形態別にみると、「正規雇用」は、「非正規雇用」、「無職（学生含む）」と比べて、多くの項目で割合が高い。特に、女性の「正規雇用」では、「職場が育児や介護などの両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が91.3%、「育児休業・介護休業などの制度が利用できること」が86.7%に達する。

図表 21-2 仕事と生活の調和を図るために必要なこと [Q38] (MA) (全員)

【居住地・本人年収・本人雇用形態別】

(%)

| N | | 育児休業・ 介護休業な どの制度が 利用できる こと | 職場が育児や 介護などの両 立に配慮や理 解があり、制 度を利用しや すい環境であ ること | 残業や休日 出勤が少な いこと | 有給休暇が 取りやすいこ と | フレックスタイ ム、在宅勤 務など多様 な働き方が できること | 夫が家事・ 育児に参 加・協力す ること | 親との近居・ 同居を促進 するための新 築・改築・転 居を公的に 支援すること | その他 | わからない | 無回答 | | |
|------------------------|---------|--|---|-----------------------|----------------------|---|-------------------------------|--|------|-------|-----|------|-----|
| 全 体 | (2,643) | 72.8 | 79.7 | 58.0 | 70.9 | 39.9 | 65.6 | 23.7 | 3.7 | 2.9 | 0.8 | | |
| 居住地 | 都 市 | (796) | 73.9 | 80.0 | 59.5 | 68.7 | 43.6 | 64.9 | 22.9 | 4.0 | 2.5 | 0.8 | |
| | 地 方 | (1,847) | 72.4 | 79.6 | 57.4 | 71.8 | 38.3 | 65.8 | 24.1 | 3.5 | 3.1 | 0.8 | |
| 本人 年 収 | 男 性 | 収入はない | (91) | 68.1 | 73.6 | 51.6 | 59.3 | 36.3 | 48.4 | 16.5 | 2.2 | 8.8 | 0.0 |
| | | 400万円未満 | (567) | 63.8 | 66.8 | 53.4 | 63.8 | 29.3 | 52.0 | 24.9 | 3.0 | 6.0 | 1.1 |
| | | 400万円以上 | (441) | 64.2 | 76.9 | 57.4 | 72.3 | 39.9 | 52.4 | 29.3 | 4.8 | 1.8 | 0.5 |
| | 女 性 | 収入はない | (327) | 75.5 | 84.4 | 63.6 | 72.2 | 46.8 | 75.8 | 21.7 | 2.1 | 1.8 | 0.3 |
| | | 200万円未満 | (572) | 76.6 | 84.3 | 56.3 | 69.8 | 40.4 | 75.0 | 20.3 | 3.3 | 1.7 | 0.7 |
| | | 200万円以上 | (582) | 84.7 | 89.3 | 63.9 | 80.2 | 47.4 | 77.1 | 24.2 | 4.6 | 0.7 | 0.9 |
| 本人 雇 用 形 態 | 男 性 | 正規雇用 | (760) | 64.6 | 72.5 | 57.0 | 71.7 | 35.0 | 53.4 | 27.8 | 3.9 | 2.6 | 0.4 |
| | | 非正規雇用 | (111) | 64.9 | 66.7 | 57.7 | 65.8 | 27.9 | 48.6 | 23.4 | 2.7 | 10.8 | 1.8 |
| | | 無職(学生含む) | (161) | 64.6 | 72.7 | 47.2 | 53.4 | 32.9 | 49.1 | 13.7 | 3.1 | 9.3 | 0.0 |
| | 女 性 | 正規雇用 | (566) | 86.7 | 91.3 | 64.3 | 80.4 | 46.3 | 76.3 | 23.9 | 4.2 | 0.9 | 0.7 |
| | | 非正規雇用 | (430) | 73.7 | 82.1 | 55.3 | 71.9 | 40.5 | 74.7 | 21.2 | 3.7 | 1.2 | 0.9 |
| | | 無職(学生含む) | (436) | 78.0 | 86.2 | 63.1 | 71.6 | 46.1 | 76.6 | 20.4 | 2.3 | 1.6 | 0.5 |

1位 2位 3位

2.2. 女性の理想の働き方 (Q39)

<全ての方に>

Q39 結婚した女性の働き方についてご意見をうかがいます。あなたが女性の場合はあなたご自身の希望する働き方を、あなたが男性の場合は配偶者の方に希望する働き方を、結婚や子供の状況別にそれぞれお答えください（○はそれぞれ1つつ）

| | 1) 急な残業もある フルタイムの仕事 | 2) フルタイムだが残業の ない仕事 | 3) フルタイムだが時間の 融通がきく仕事 | 4) 短時間勤務制 パート・アルバイト | 5) 家でできる仕事 | 6) 仕事は持たず、 家事・育児に専念する |
|----------------------|---------------------------|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|---------------|-----------------------------|
| A) 結婚して子供がいない時 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| B) 末子が3歳以下の時 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| C) 末子が4歳以上小学校入学前の時 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| D) 末子が小学生の時 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| E) 末子が中学生の時 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

・全体で最も高い項目をみると、

- A) 結婚して子供がいない時では「急な残業もあるフルタイムの仕事」が40.1%、
- B) 末子が3歳以下の時では「仕事は持たず、家事・育児に専念する」が41.7%、
- C) 末子が4歳以上小学校入学前の時では「短時間勤務制 パート・アルバイト」が35.6%、
- D) 末子が小学生の時では「短時間勤務制 パート・アルバイト」が36.4%、
- E) 末子が中学生の時では「フルタイムだが時間の融通がきく仕事」が33.7%となっている。

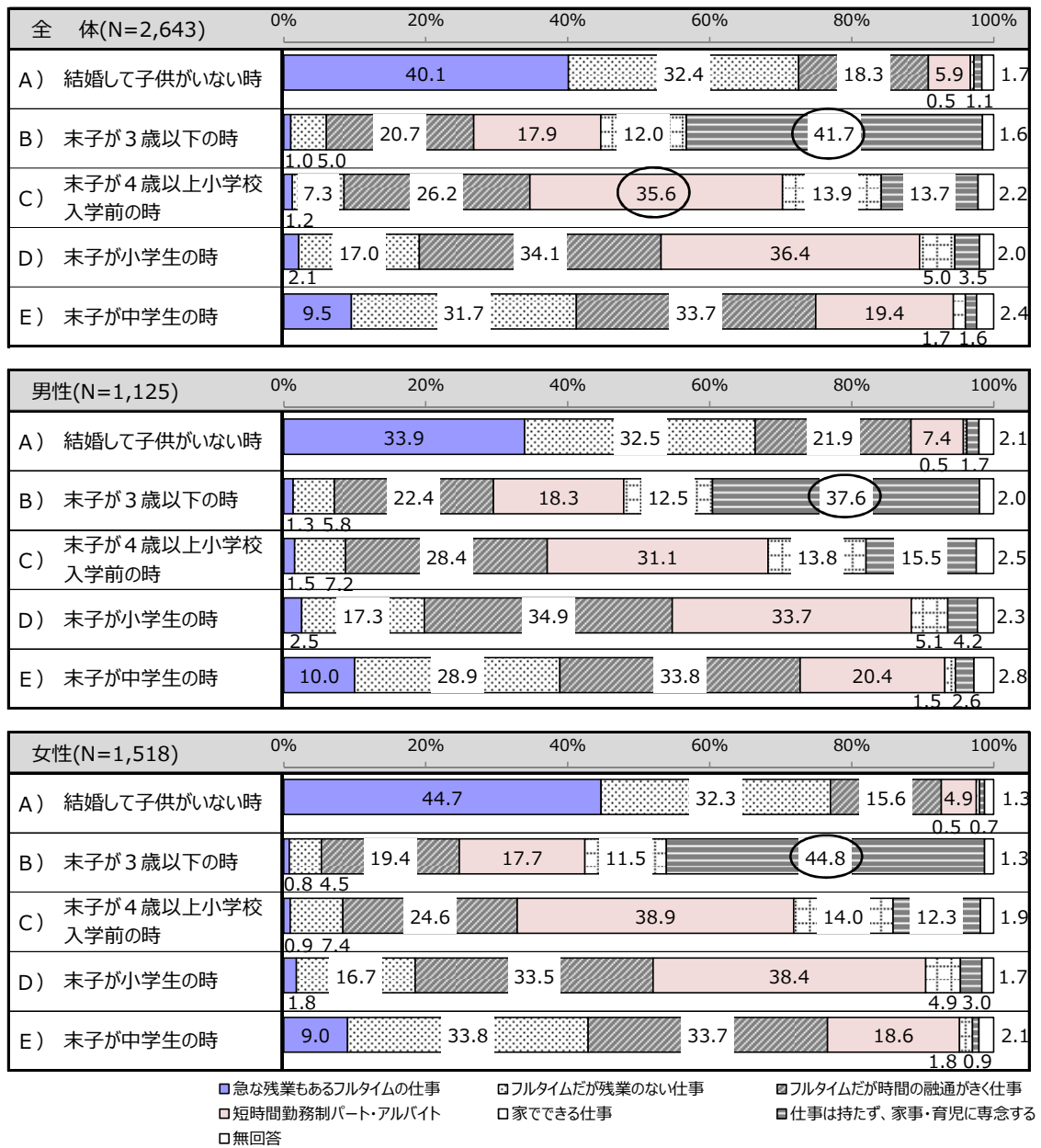
・男性をみると、

- A) 結婚して子供がいない時では「急な残業もあるフルタイムの仕事」(33.9%)と「フルタイムだが残業のない仕事」(32.5%)が高く、
- B) 末子が3歳以下の時では「仕事は持たず、家事・育児に専念する」が37.6%、
- C) 末子が4歳以上小学校入学前の時では「短時間勤務制 パート・アルバイト」(31.1%)と「フルタイムだが時間の融通がきく仕事」(28.4%)が高く、
- D) 末子が小学生の時では「フルタイムだが時間の融通がきく仕事」(34.9%)と「短時間勤務制 パート・アルバイト」(33.7%)が高く、
- E) 末子が中学生の時では「フルタイムだが時間の融通がきく仕事」が33.8%となっている。

・女性をみると、

- A) 結婚して子供がいない時では「急な残業もあるフルタイムの仕事」が44.7%、
- B) 末子が3歳以下の時では「仕事は持たず、家事・育児に専念する」が44.8%、
- C) 末子が4歳以上小学校入学前の時では「短時間勤務制 パート・アルバイト」が38.9%、
- D) 末子が小学生の時では「短時間勤務制 パート・アルバイト」が38.4%、
- E) 末子が中学生の時では「フルタイムだが残業のない仕事」が33.8%、「フルタイムだが時間の融通がきく仕事」が33.7%となっている。

図表 22-1 女性の理想の働き方[Q39] (SA) (全員)【性別】



23. 理想の結婚－女性の理想の生き方 (Q51)

<全ての方に>

Q51 女性の生き方についてご意見をうかがいます。あなたが女性の場合はあなたご自身が理想とする生き方を、あなたが男性の場合は妻となる女性に送ってほしい生き方をお答えください。理想として最も近いと思われるものをひとつお選びください。(〇は1つ)

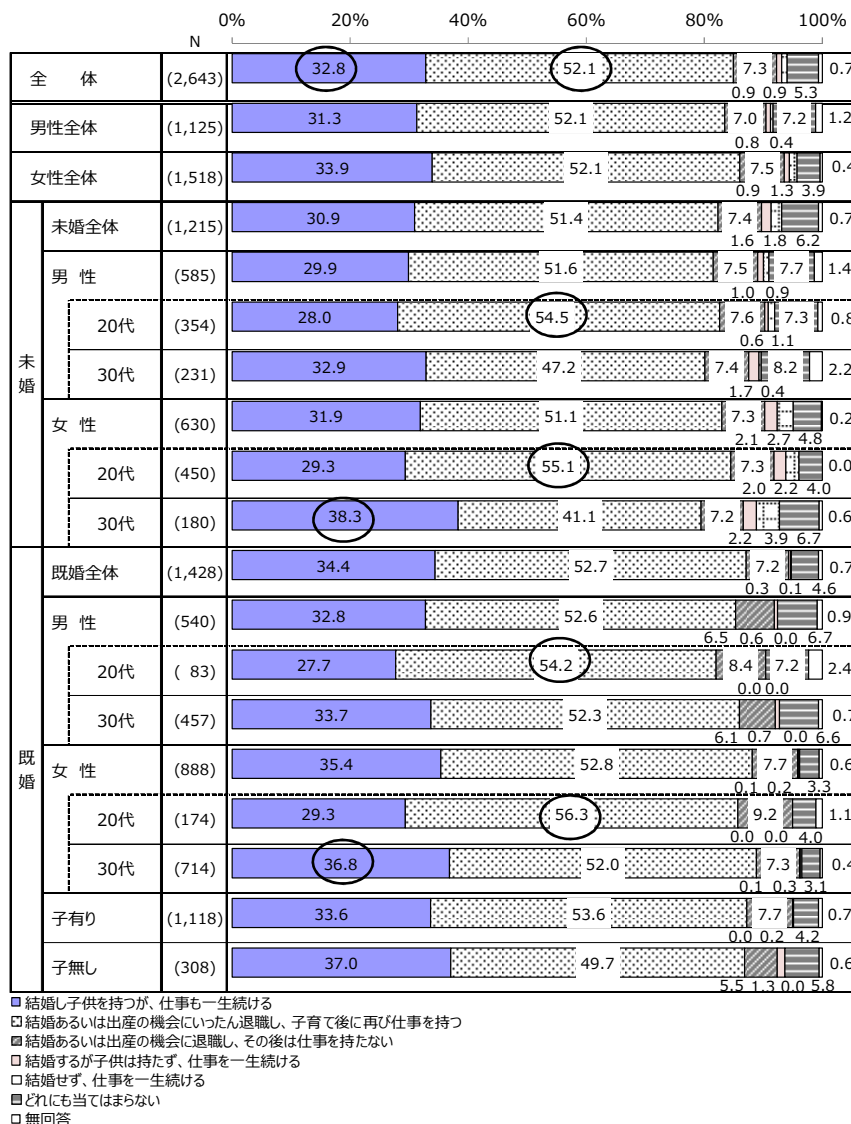
- 1 結婚し子供を持つが、仕事も一生続ける
- 2 結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
- 3 結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
- 4 結婚するが子供は持たず、仕事を一生続ける
- 5 結婚せず、仕事を一生続ける
- 6 どれにも当てはまらない

・全体では、「結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が52.1%と最も高く、「結婚し子供を持つが、仕事も一生続ける」が32.8%と続く。

・「結婚し子供を持つが、仕事も一生続ける」は男女間で大きな差はみられないが、「未婚」、「既婚」とも、30代女性は4割弱と、比較的高い傾向にある。

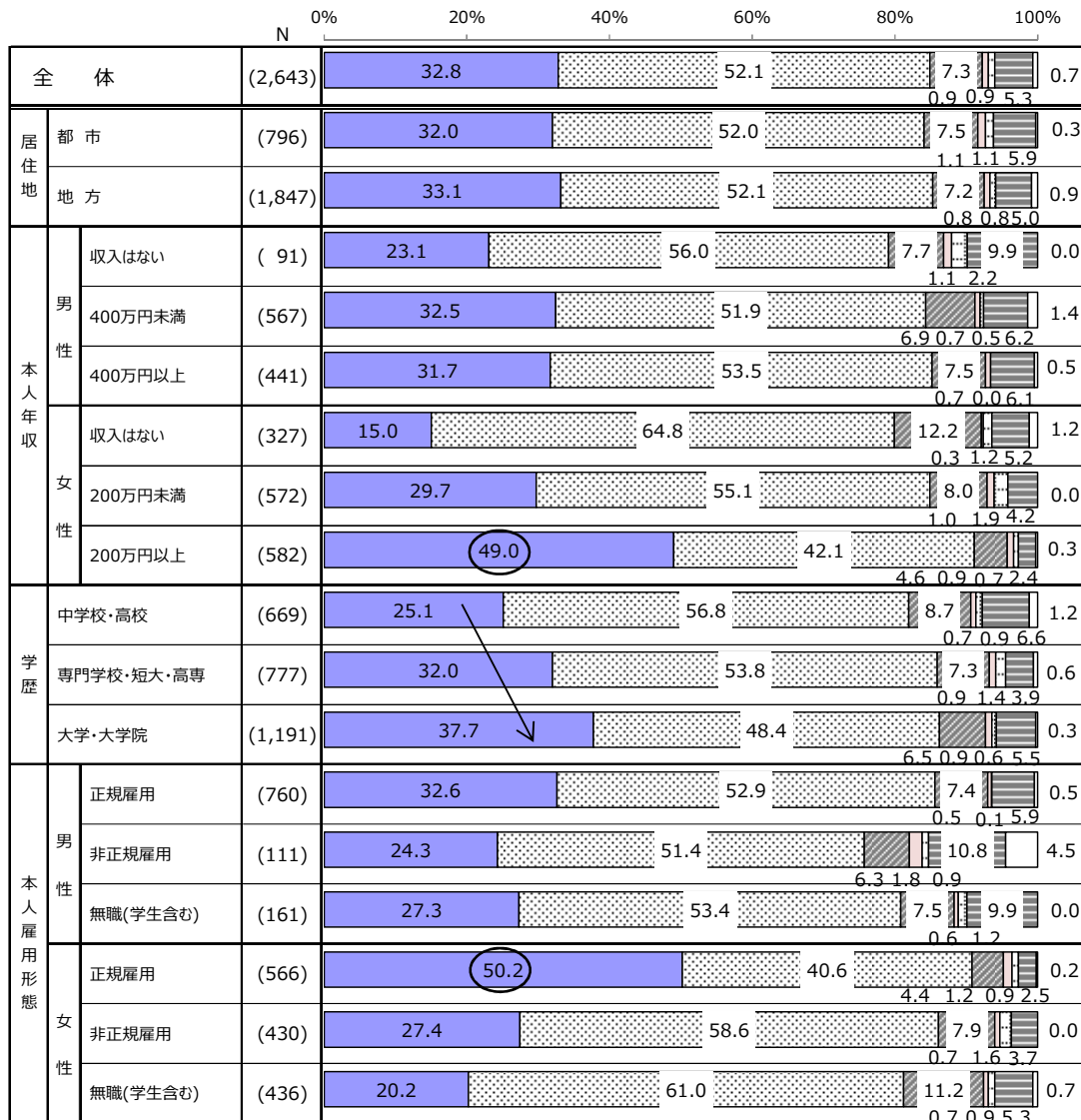
・「結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」は、「未婚」、「既婚」、男女とも、20代は全体(52.1%)よりも高い。

図表 23-1 理想の結婚－女性の理想の生き方[Q51] (SA) (全員)【性・結婚状況(性・年代)別】



- ・年収別にみると、女性では年収が高いほど、「結婚し子供を持つが、仕事も一生続ける」が高い傾向にあり、特に「200万円以上」の女性では49.0%に達する。
- ・学歴別にみると、学歴が高くなるにつれ、「結婚し子供を持つが、仕事も一生続ける」が高くなる。
- ・「正規雇用」の女性は、「結婚し子供を持つが、仕事も一生続ける」が50.2%と高い。

図表 23-2 理想の結婚－女性の理想の生き方[Q51] (SA) (全員)
【居住地・本人年収・学歴・本人雇用形態別】



- 結婚し子供を持つが、仕事も一生続ける
- 結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
- 結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
- 結婚するが子供は持たず、仕事を一生続ける
- 結婚せず、仕事を一生続ける
- どれにも当てはまらない
- 無回答

24. 理想の結婚—家計分担 (Q52)

<全ての方に>

Q52 あなたは、結婚生活において、夫婦の間で家計をどのように担うのが良いと思いますか。

(○は1つ)

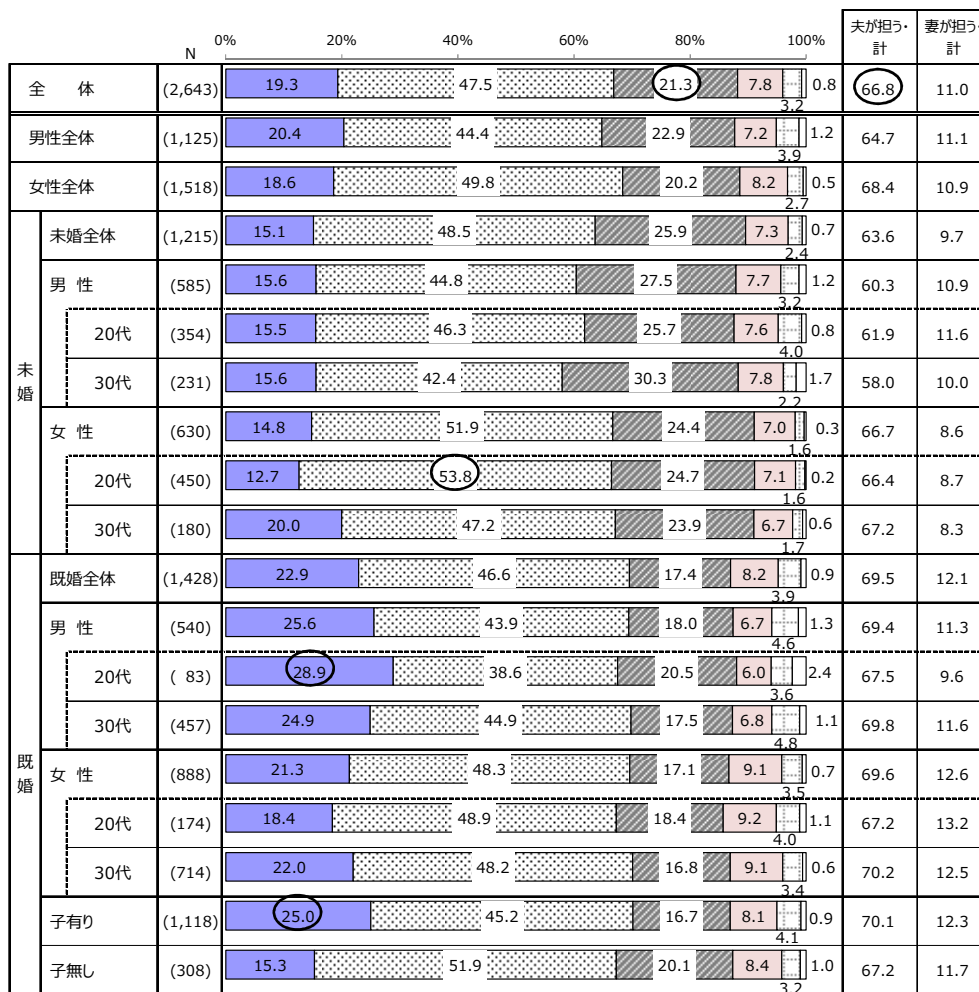
- 1 夫が家計の担い手となる
- 2 どちらかというと夫が家計の主な担い手となる
- 3 どちらも同じくらい
- 4 どちらかというと妻が家計の主な担い手となる
- 5 妻が家計の担い手となる

・全体では、「夫が家計の担い手となる」(19.3%)、「どちらかというと夫が担い手となる」(47.5%)を合わせた、「夫が担う・計」が66.8%と高い。「どちらも同じくらい」は、21.3%。

・「未婚」の20代女性では、「どちらかというと夫が担い手となる」が53.8%と全体より高い。

・「既婚」では、「夫が家計の担い手となる」が「未婚」に比べて高く、特に20代男性では28.9%にのぼる。一方、女性では30代で、20代よりも「夫が家計の担い手となる」とする割合が高い。また、「子有り」では、「夫が家計の担い手となる」が25.0%と高い。

図表 24-1 理想の結婚—家計分担 [Q52] (SA) (全員) 【性・結婚状況 (性・年代) 別】

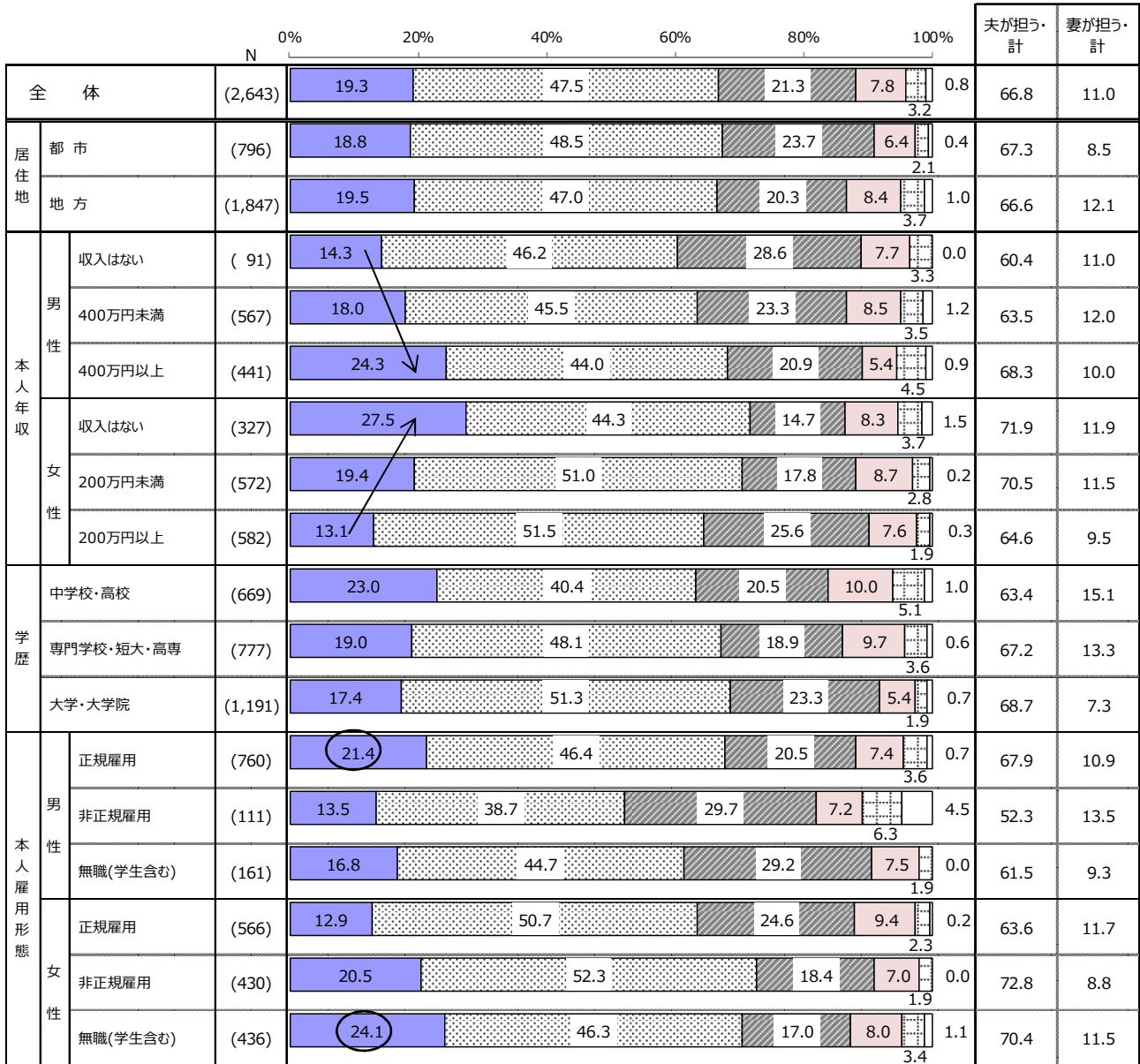


夫が家計の担い手となる どちらかというと夫が家計の主な担い手となる
 どちらかというと妻が家計の主な担い手となる
 妻が家計の担い手となる どちらも同じくらい
 無回答

※ 「夫が担う・計」は、「夫が家計の担い手となる」「どちらかというと夫が家計の担い手となる」の合計。
 「妻が担う・計」は、「妻が家計の担い手となる」「どちらかというと妻が家計の担い手となる」の合計。

- ・年収別にみると、男性では年収が高いほど、女性では年収が低いほど、「夫が家計の担い手となる」が高い傾向にある。
- ・雇用形態別にみると、男性では、「正規雇用」で「夫が家計の担い手となる」が21.4%であるのに対し、女性では「無職（学生含む）」で「夫が家計の担い手となる」が24.1%と高い。

図表 24-2 理想の結婚一家計分担[Q52] (SA) (全員)【居住地・本人年収・学歴・本人雇用形態別】



- 夫が家計の担い手となる
- どちらかというと夫が家計の主な担い手となる
- ▨ どちらも同じくらい
- どちらかというとなが家計の主な担い手となる
- ▨ 妻が家計の担い手となる
- 無回答

※ 「夫が担う・計」は、「夫が家計の担い手となる」「どちらかというとなが家計の担い手となる」の合計。
「妻が担う・計」は、「妻が家計の担い手となる」「どちらかというとなが家計の担い手となる」の合計。